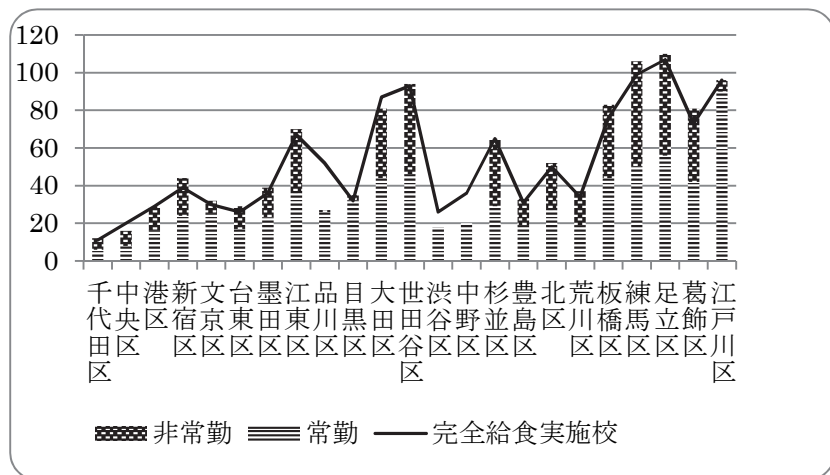


2. 栄養教諭等配置状況

次に栄養教諭等の配置状況を見ていく。図2、図3は栄養教諭あるいは学校栄養職員の配置数を表したものである。

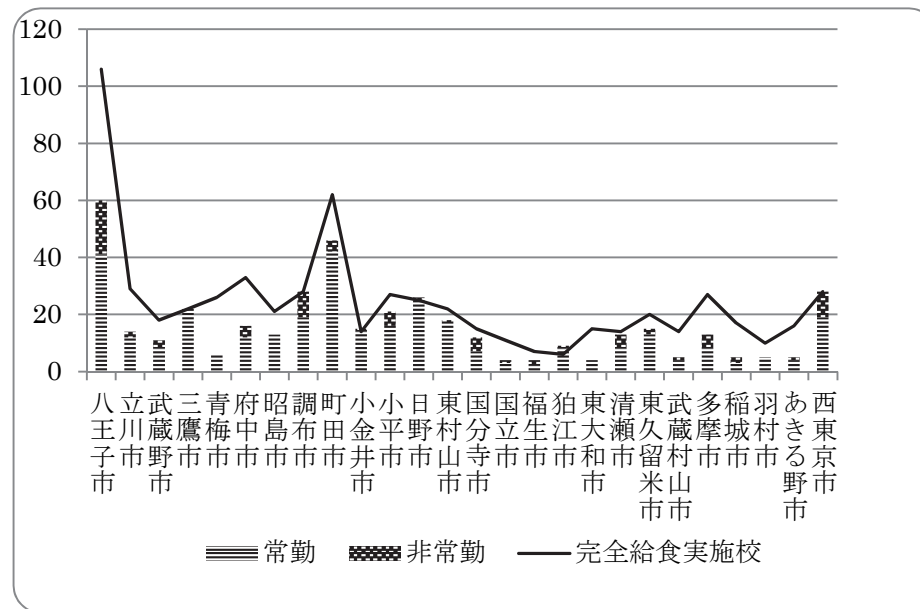
23区では栄養教諭などの非常勤の割合が高いことがこのグラフからもわかる。一方、2つのグラフにある折れ線グラフは完全給食の実施校数を表しているが、多摩では棒グラフが折れ線グラフに届いていない自治体が多い。これはセンター方式を導入しているため、各校に一人ずつ栄養教諭等を配置していないことが反映しているとみられる。ただし、栄養教諭等の数は教育委員会への配置なども含まれており、一校に1人の栄養教諭等が配置されているように見える自治体でも、実際にはすべての学校には配置されていない可能性がある。

図2 栄養教諭等配置状況（23区）



※棒グラフは非常勤および常勤の栄養教諭等の人数を表す。折れ線グラフは完全給食を実施している学校数を示す（図3も同様）。

図3 栄養教諭等配置状況（多摩）



以上から調理業務の集約や委託、非常勤化などが都内の多くの自治体で行われていることがわかる。その手法は自治体により様々だが、全体として多摩地域ではセンター方式や外部調理委託が進んでいるのに対し、23区では、調理業務の委託や栄養教諭の非常勤化などが進んでいるように思われる。これらの手法が安易に取り入れることはないと考えたいが、それぞれの自治体の規模や地域の状況なども考慮し、大局的な視点から取り組むことが求められる。